

7 合成高分子系ルーフィングシート 防水
防水層の種類
工法 種類 施工箇所 耐火材 仕上塗料 備考

8 遮熱防水
高日射放射率防水の適用 ※適用する ・適用しない

9 シーリング
シーリング改修工法の種類

11 アルミニウム製空木
種類 ・オーブン形式 (・押出250形 ・押出350形 ・押出350形) [3.9.2, 3]

12 防水工事地工程
※設置する (ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日 (手直しは除く) を記入)

4 外壁改修工事
1 施工数量調査
調査時期 ・外壁改修期間 ・図示の範囲 [1.5.2, 3]

2 ポリマーセメントスラリー
広がり速度 長さ変化率 (収縮) 引張接着性 (材齢28日) 曲げ性能 (材齢28日) 吸水性 耐久性

3 既設調合モルタル
※エポキシ樹脂 低・中粘度部

4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁
1 ひび割れ部改修工法
■樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4~6]

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁
1 既存モルタル塗りの除去
■樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.5~7]

3 欠損部改修工法
■モルタル塗替え工法

4 浮き部改修工法
工法の種類
アンカーピンの本数 (本/箇所) 注入口の間隔数 (箇所/箇所) 注量 (ml/箇所)

4-3 タイル張り仕上げ外壁
1 既存タイル張りの撤去
■樹脂注入工法

2 ひび割れ部改修工法
■樹脂注入工法

3 欠損部改修工法
■モルタル塗替え工法

4 浮き部改修工法
工法の種類

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

6 タイルの形状・寸法等
■目地調整工法

4-4 塗り仕上げ外壁等
1 既存塗膜等の除去
■下地調整

2 仕上げ塗材仕上げ
■新設仕上の種類

3 マスチック塗材塗り
■塗材の種類

4-5 外壁用遮熱防水材塗り
仕上げの形状・寸法
■外壁用仕上塗料の耐候性

5 建築改修工事
1 改修工法
■塗材の種類

2 防火戸
■遮熱性

3 見本の製作等
■見本の製作

4 防雨建築物部
■遮熱性

5 アルミニウム製建具
性能値等
耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法
外部に面する建具の種類
A種・B種・C種(適用する建具 ※建具表による)

11 建具用金物
性能値等
多機能トレイル出入口に設置される引戸
上出入口引戸用駆動装置の性能値
※[表5.9.1]による

16 軽量シャッター
性能値等
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類
シャッターの種類

6 造作用集材材
「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
「製材の日本農林規格」以外の製材
「製材の日本農林規格」による造作用集材材

11	コンクリートの種類等	類別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) (6.2.1) ※Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通セメントB種 () ・ 中熱セメントB種 () ・ 低熱セメント () ・ 高炉セメントB種 () ・ 珪灰セメントB種 () ・ シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (: 標準仕様書6.13.2(2) (7)による) ・ 標準仕様書6.13.2(2) (4)による スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.13.1による																							
		設計基準強度 (N/mm ²) ・ 24 ・ 21 ・ 2.3程度 ・ 15又は18 ・ 18 適用箇所 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S=3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S=6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)																								
		2 セメント 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) ・ 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水熱 熱が7日目で 35kJ/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・ 高炉セメントB種 () 適用箇所 (11より下部 (立上り部含む)) ・ フライアッシュセメントB種 () 適用箇所 ()																								
		3 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A - B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)																								
		4 混和材料 (6.3.1) ・ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4) (a)による ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4) (b)による																								
		5 打撃の位置、ひび割れ誘発目地、打撃目地 (6.6.4) 打撃の位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による () 目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) ・ 標準仕様書 9.7.3(1) (7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打撃目地の深さ寸法は、躯体外側の打撃し部で処理する 図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) 図示による ()																								
		6 温湿養生 (6.7.2) 温湿養生の期間 ・ セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日																								
		7 コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>	種 別	適用 箇 所	・ A種	※図示による ()	・ B種	※図示による ()	・ C種	※図示による ()	種 別	適用 箇 所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()								
		種 別	適用 箇 所																							
		・ A種	※図示による ()																							
		・ B種	※図示による ()																							
・ C種	※図示による ()																									
種 別	適用 箇 所																									
・ a種	※図示による ()																									
・ b種	※図示による ()																									
・ c種	※図示による ()																									
8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm 打増し範囲 図示による (スロープ)																										
9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ 合板 (※12mm) () コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用 する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 断熱材を使用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・ MGR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 図示による ()																										
10 軽量コンクリート (6.10.1, 2) 適用箇所 図示による () 種類 ・ 1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 ・ 標準仕様書 表6.10.1による スランプ ※21cm																										
11 寒中コンクリート (6.11.1, 2) 適用期間 (月 日 ~ 月 日) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 図示による ()、S= ()																										
12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間 (月 日 ~ 月 日) 構造体強度補正値(S) ※0N/mm ² 図示による ()、S= ()																										
13	マスコンクリート																									
14	無筋コンクリート																									
15	コンクリートの単位水量測定																									

内藤建築事務所

東京都中央区八丁堀3-12-6
 一級建築士 小倉 謙二 第272507
 一級建築士事務所 東京都建設局 第12114号

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事

特A-O6

特記仕様書(6)

縮尺
A3 NON SCALE
A4 NON SCALE

設計概要

Table with 2 columns: 工事名 (Project Name) and 主要用途 (Main Use). Includes details like 埼玉県立がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 and 病院.

Table with 2 columns: 敷地 (Site) and 都市計画区域 (City Planning Area). Includes details like 敷地面積 (Site Area) 70,499.20 m² and 用途地域 (Use District) 法42条2項等により敷地に算入しない面積.

Table with 2 columns: 法的適用項目 (Legal Application Items) and 建築許可・認定 (Building Permit/Certification). Includes items like 建築許可・認定 (Building Permit/Certification) and 住宅性能評価 (Residential Performance Evaluation).

Table with 2 columns: 構造・規模 (Structure/Scale) and 各高さ (Various Heights). Includes details like 構造の種類 (Structure Type) SRC・RC・S・CFT・PC・CB・LGS・W and 建築物の高さ (Building Height) 48.67 m.

Table with 2 columns: 主要面積 (Main Area) and 収容数 (Capacity). Includes details like 建築面積 (Building Area) 13,888.11 m² and 病床数 (Number of Beds) 500床.

床面積 (階別・申請部分面積・施工床面積等)

Table with 11 columns: 階 (Floor), 床面積 (床面積), 延床面積 (延床面積), 病院本体延床面積 (病院本体延床面積), 付属建屋1 (付属建屋1), 付属建屋2 (付属建屋2), 付属建屋3 (付属建屋3), 駐輪場 (駐輪場), エントランスキャノピー (エントランスキャノピー), 救急庇 (救急庇), 付属建屋等小計 (付属建屋等小計), 合計面積 (合計面積).

案内図 (S=1/10000)

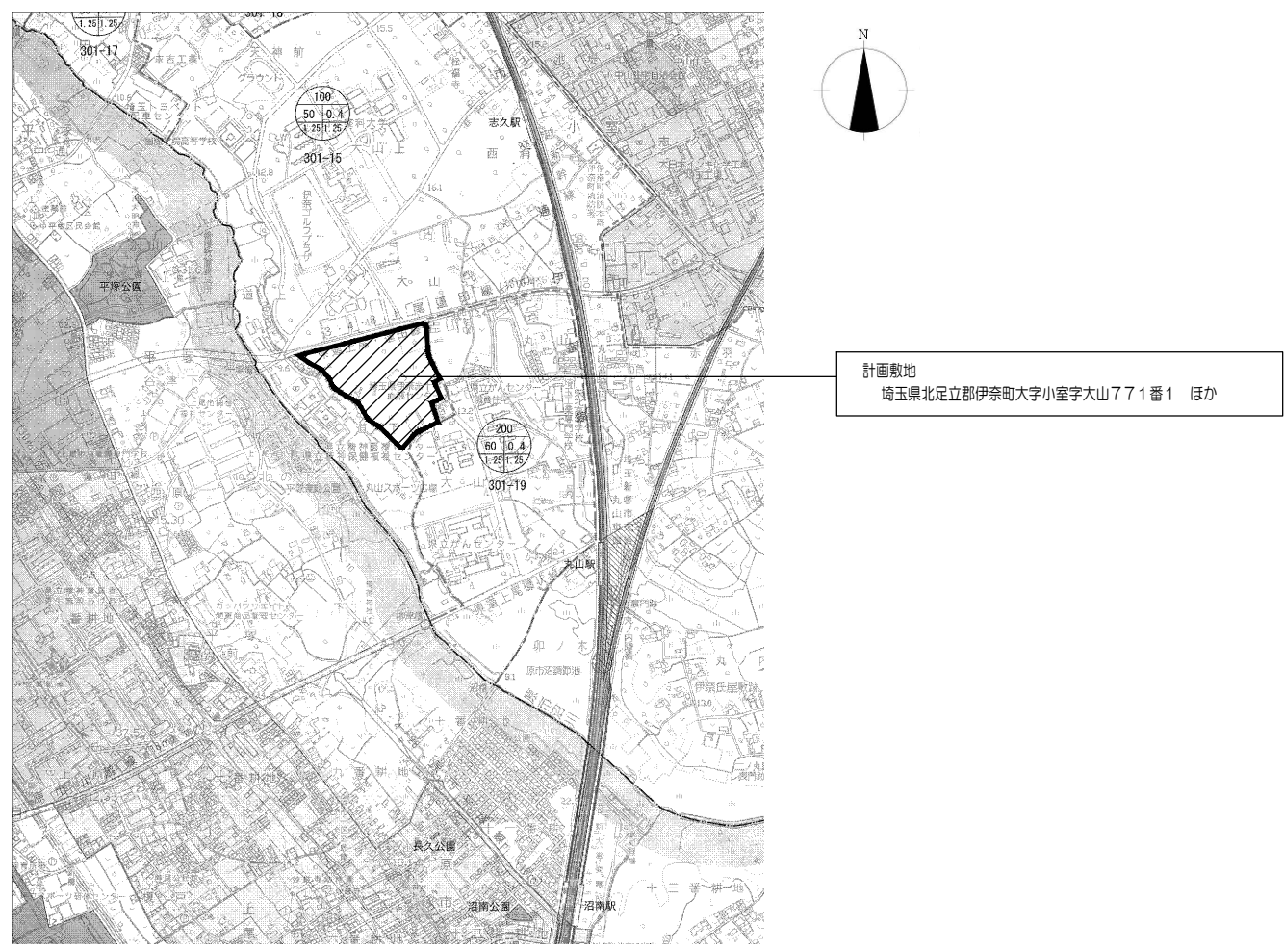
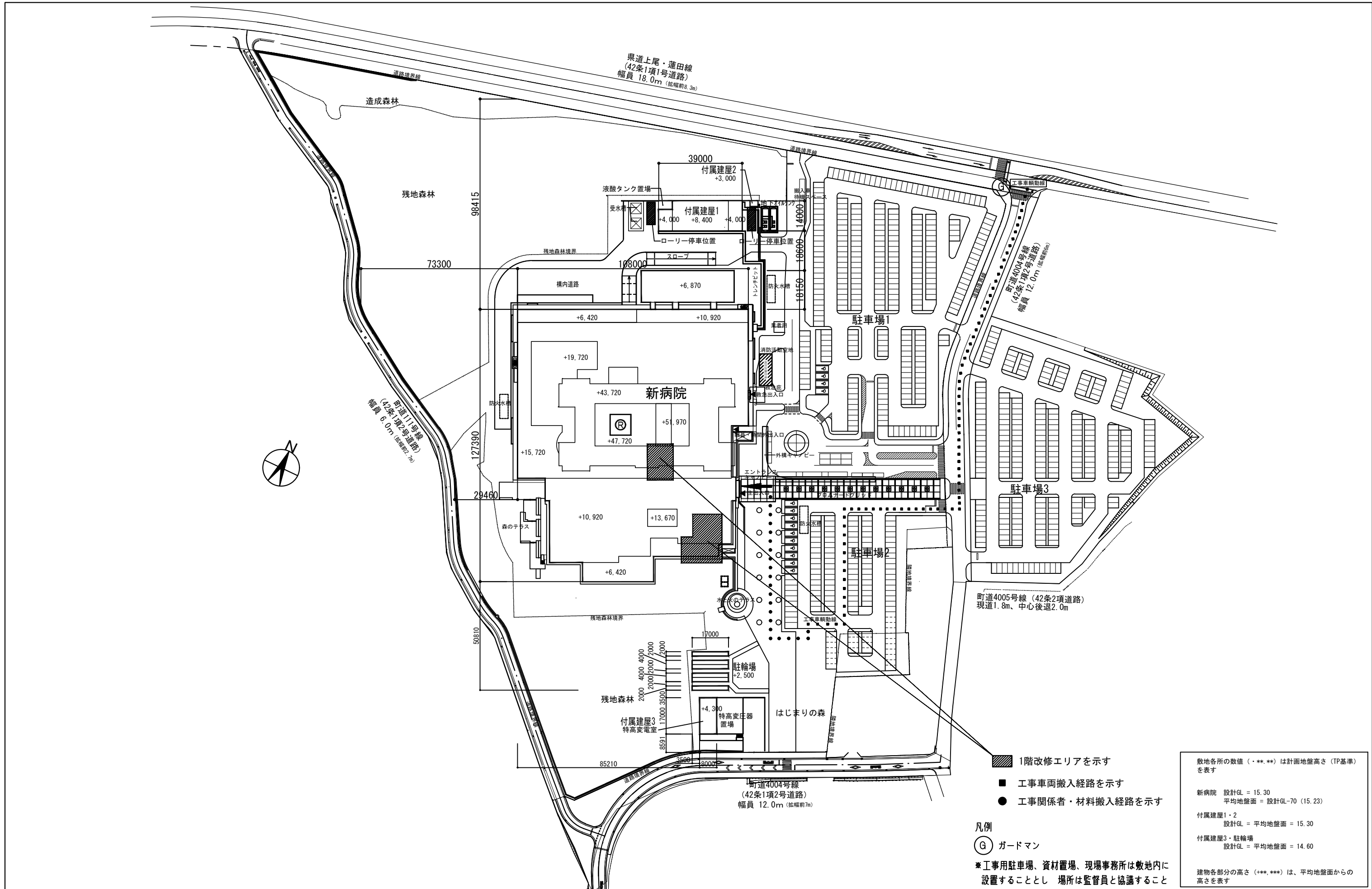


Table with 4 columns: 設計者 (Designer) 内藤建築事務所, 依頼者 (Client) 地方独立行政法人埼玉県立病院機構, 工事名 (Project Name) 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事, and 図名 (Drawing Name) 設計概要書.



- 1階改修エリアを示す
- 工事車両搬入経路を示す
- 工事関係者・材料搬入経路を示す

凡例

○ G ガードマン

* 工所用駐車場、資材置場、現場事務所は敷地内に設置することとし 場所は監督員と協議すること

敷地各所の数値 (・**・**) は計画地盤高さ (TP基準) を表す
新病院 設計GL = 15.30 平均地盤面 = 設計GL-70 (15.23)
付属建屋1・2 設計GL = 平均地盤面 = 15.30
付属建屋3・駐輪場 設計GL = 平均地盤面 = 14.60
建物各部分の高さ (+**・**) は、平均地盤面からの高さを表す

工事区分表

- 1. ●印の付いたものを適用する。
2. ●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

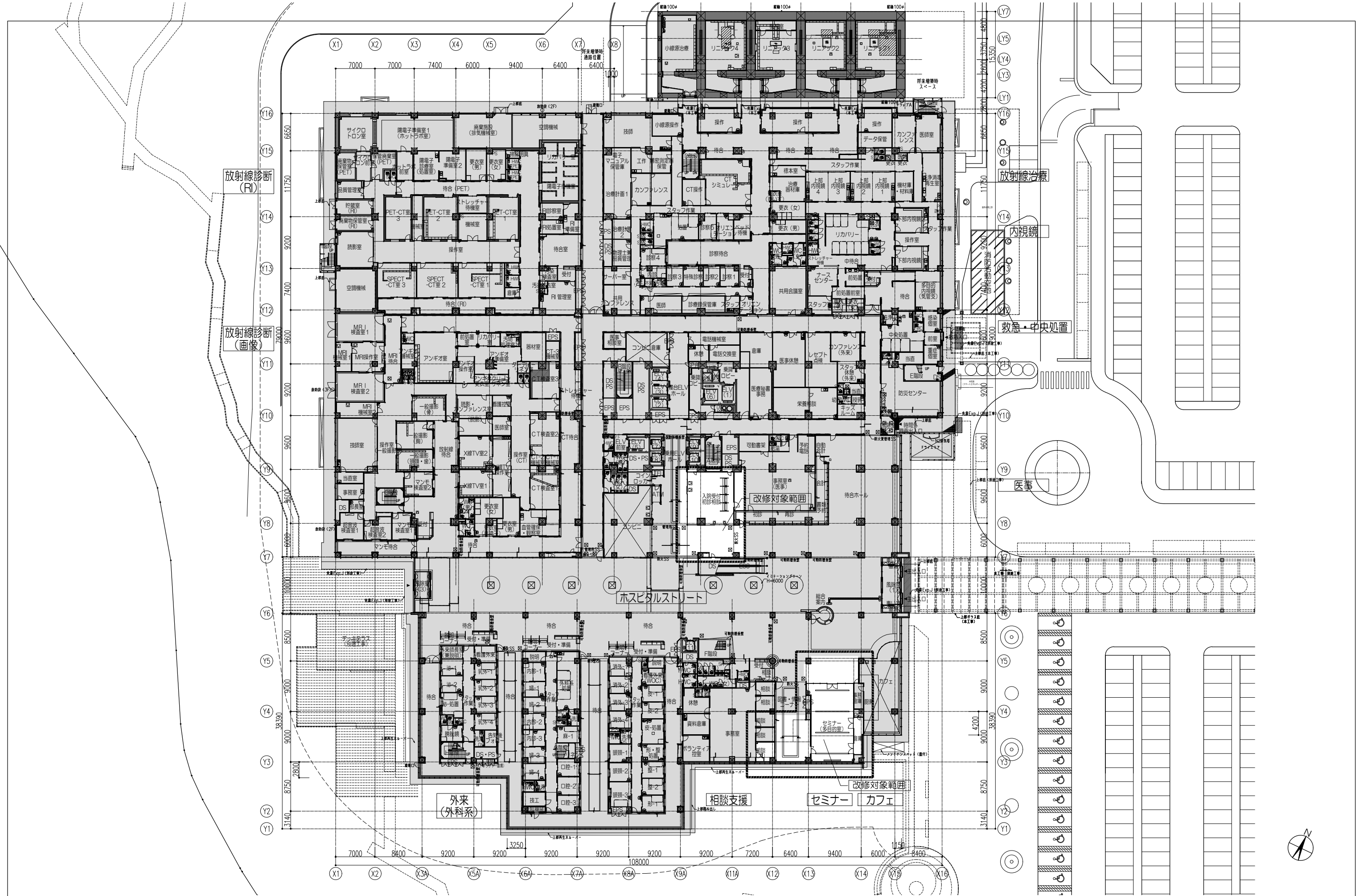
Table with columns: 区分 (建築, 電気, 機械, 土木), 項目 (名称, 摘要), 備考. Lists construction items like concrete pouring, piping, and electrical work.

Table with columns: 区分 (建築, 電気, 機械, 土木), 項目 (名称, 摘要), 備考. Lists construction items including fire equipment, ventilation, and safety measures.

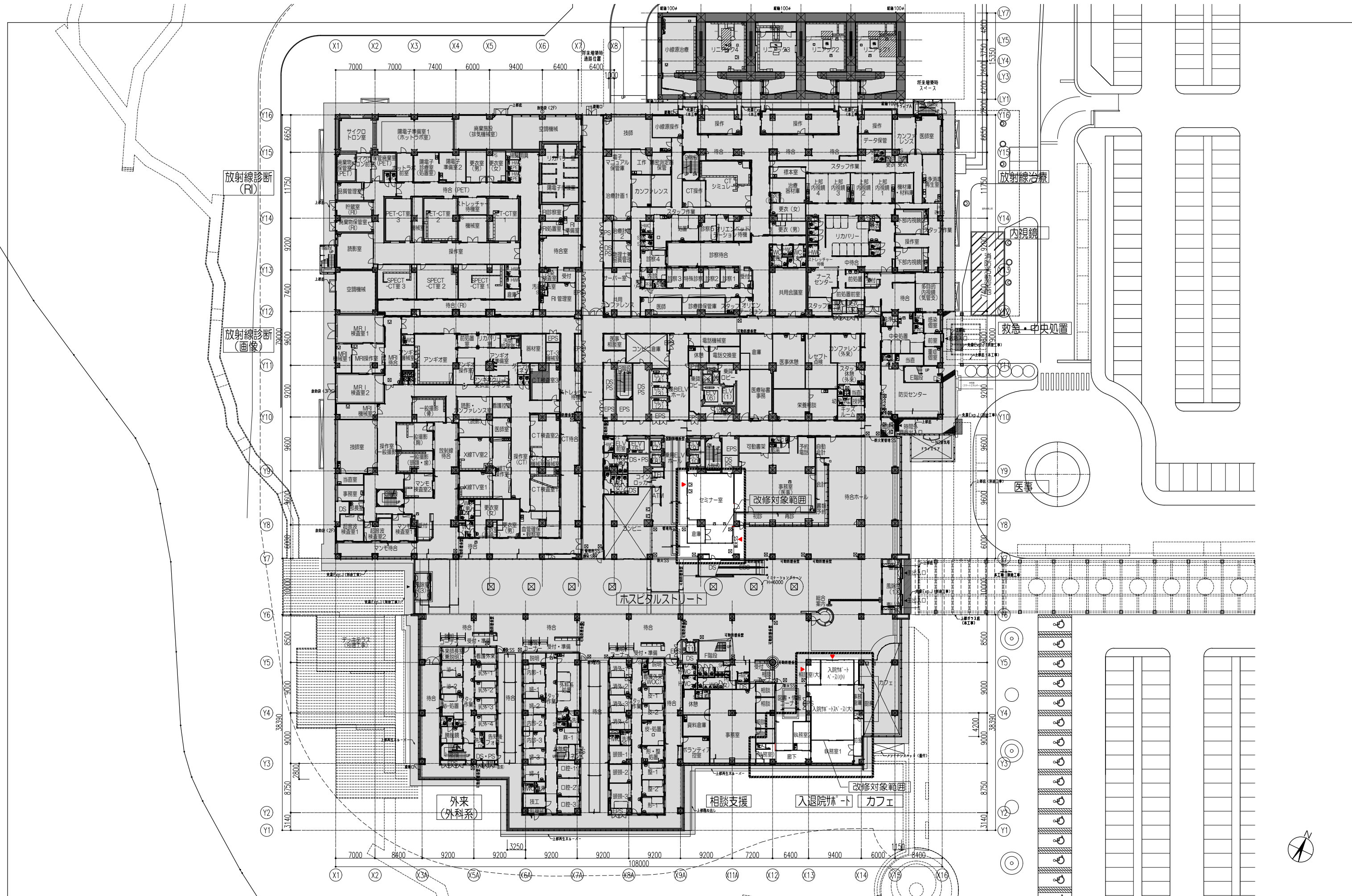
Table with columns: 区分 (建築, 電気, 機械, エスカレーター), 項目 (名称, 摘要), 備考. Lists items for the elevator shaft, including mechanical room and safety features.

Table with columns: 区分 (建築, 電気, 機械, エスカレーター), 項目 (名称, 摘要), 備考. Lists items for the escalator installation, including structural work and electrical connections.

Table with columns: 区分 (建築, 電気, 機械, クレーン), 項目 (名称, 摘要), 備考. Lists items for crane equipment, including tracks and power supply.



<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p>	<p>株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第52519号</p>	<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> <p>工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事</p> <p>図名 1階 平面図(改修前)</p> <p>縮尺 A1:1/200 A3:1/400</p> <p>設計日</p>	<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> <p>図番 A-006</p>
-------------------------	---	---	---



地方独立行政法人埼玉県立病院機構

株式会社 内藤建築事務所

東京都中央区八丁堀3-12-8
 一級建築士 小倉 謙二 第272507
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第52519号

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

工事名 22がんセンター入院サポートセンター設置改修工事

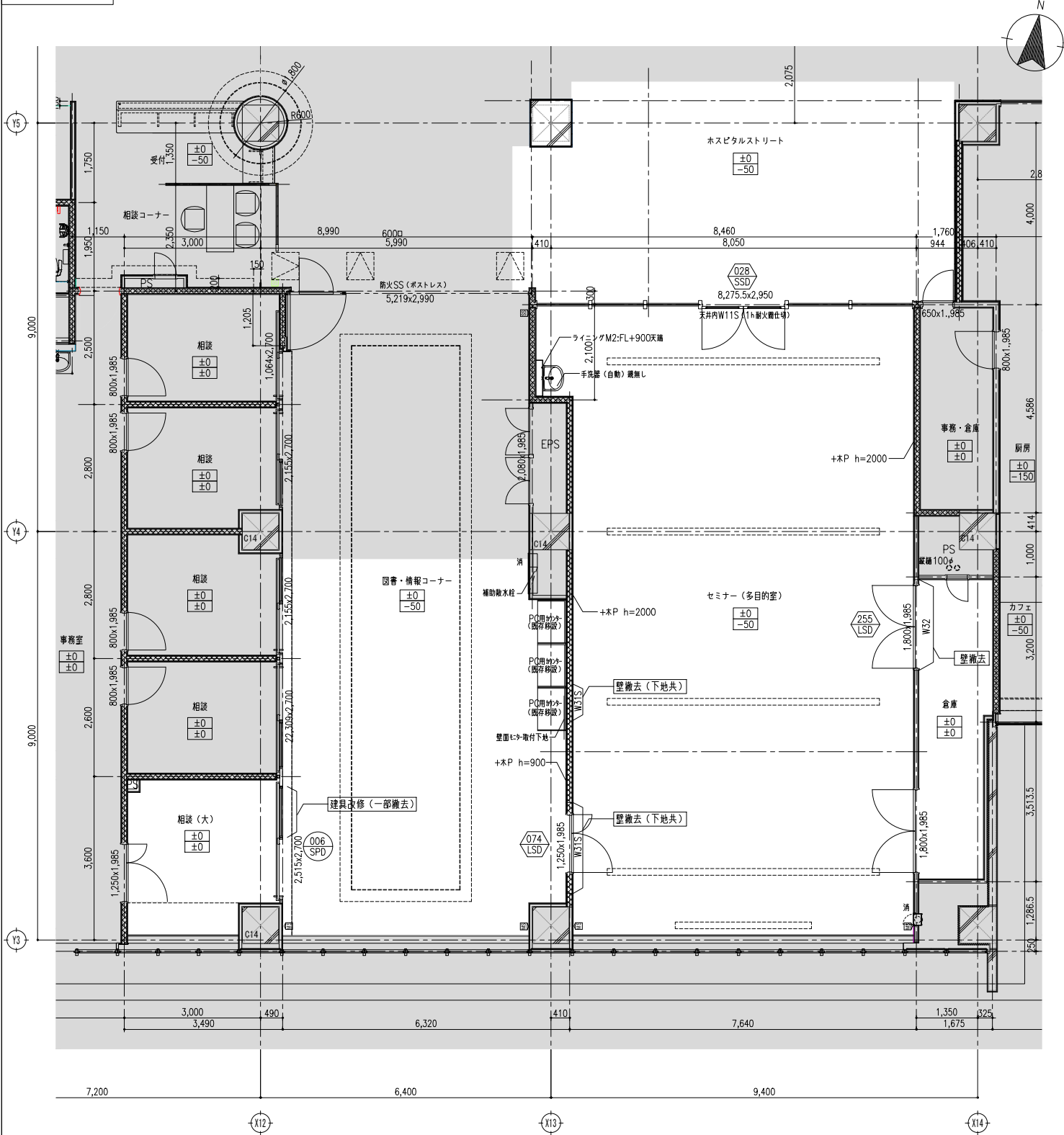
A-007

図名 1階 平面図(改修後)

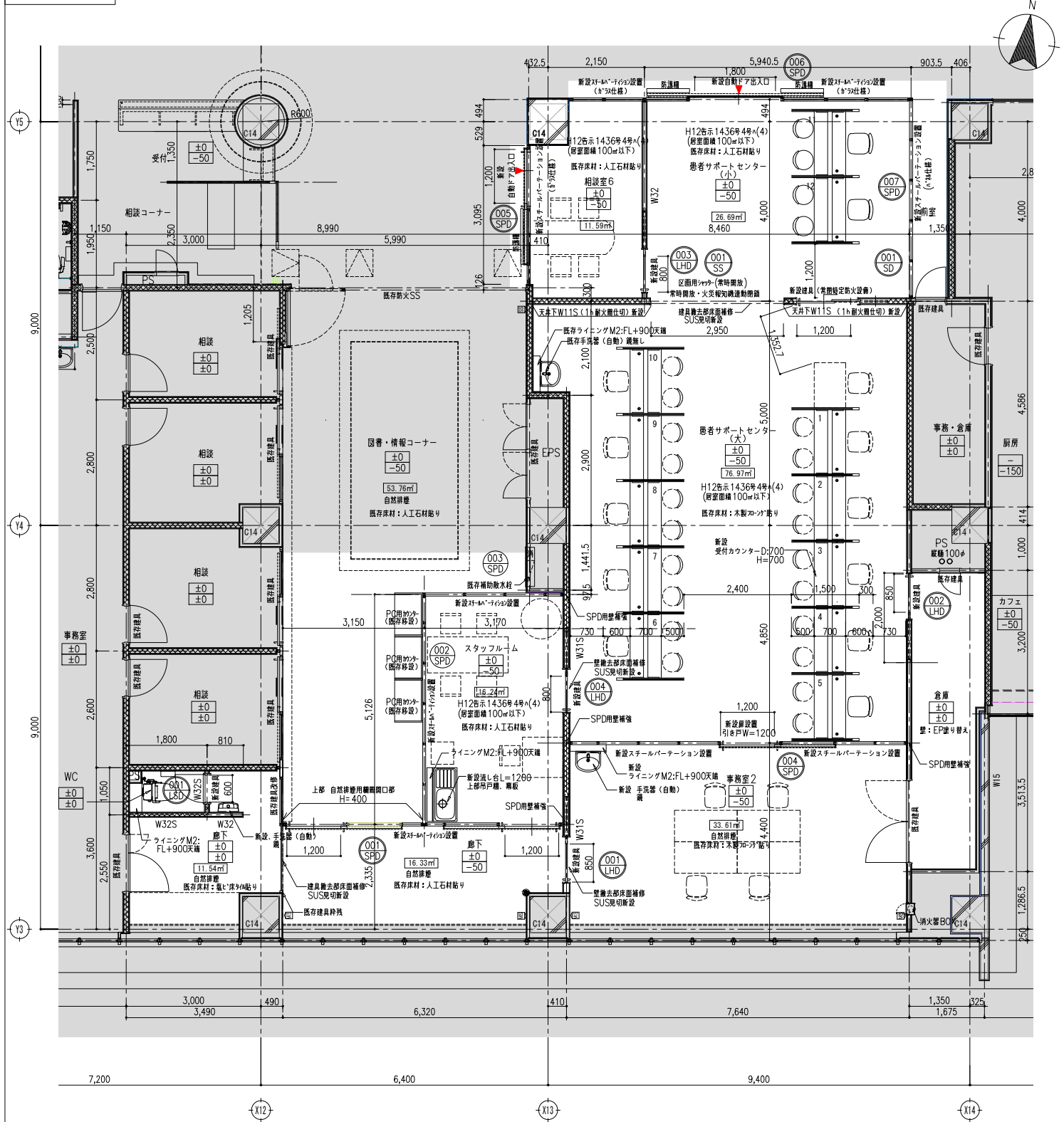
縮尺 A1:1/200 A3:1/400

設計日

1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)



凡例

既存撤去建具	3 LSD	既存改修建具	○	特記なき限り、撤去する壁は乾式壁、LGS#W65とする。
建具符号		その他符号		
SD 鋼製戸(開き戸)		改修範囲外を示す	■	
LSD 軽量鋼製戸(開き戸)		壁名変更範囲を示す	▨	
LHD 軽量鋼製戸(片引きハンガードア)		既存カーテンレール	CR	
WD 木製戸(開き戸)		既存ビクチャーレール	PR	
AD アルミ製ドア		壁・建具撤去範囲を示す	○○○	
SS スチールシャッター				
SPD スチールパーテーション				

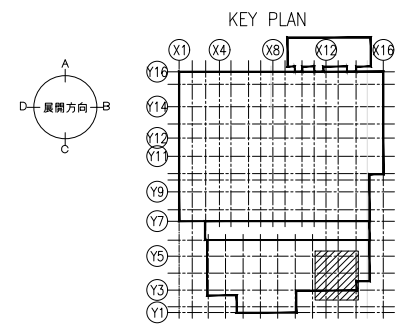
■壁種別 凡例

W31 一般壁 (スラブ・梁下まで) LGS W100 GB-R t12.5x2 (両面)
 W32 一般壁 (天井下まで) LGS W65 GB-R t12.5x2 (両面)
 W11・21 1時間耐火 (防火区画) LGS W100 GB-F t12.5x2 (両面)

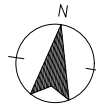
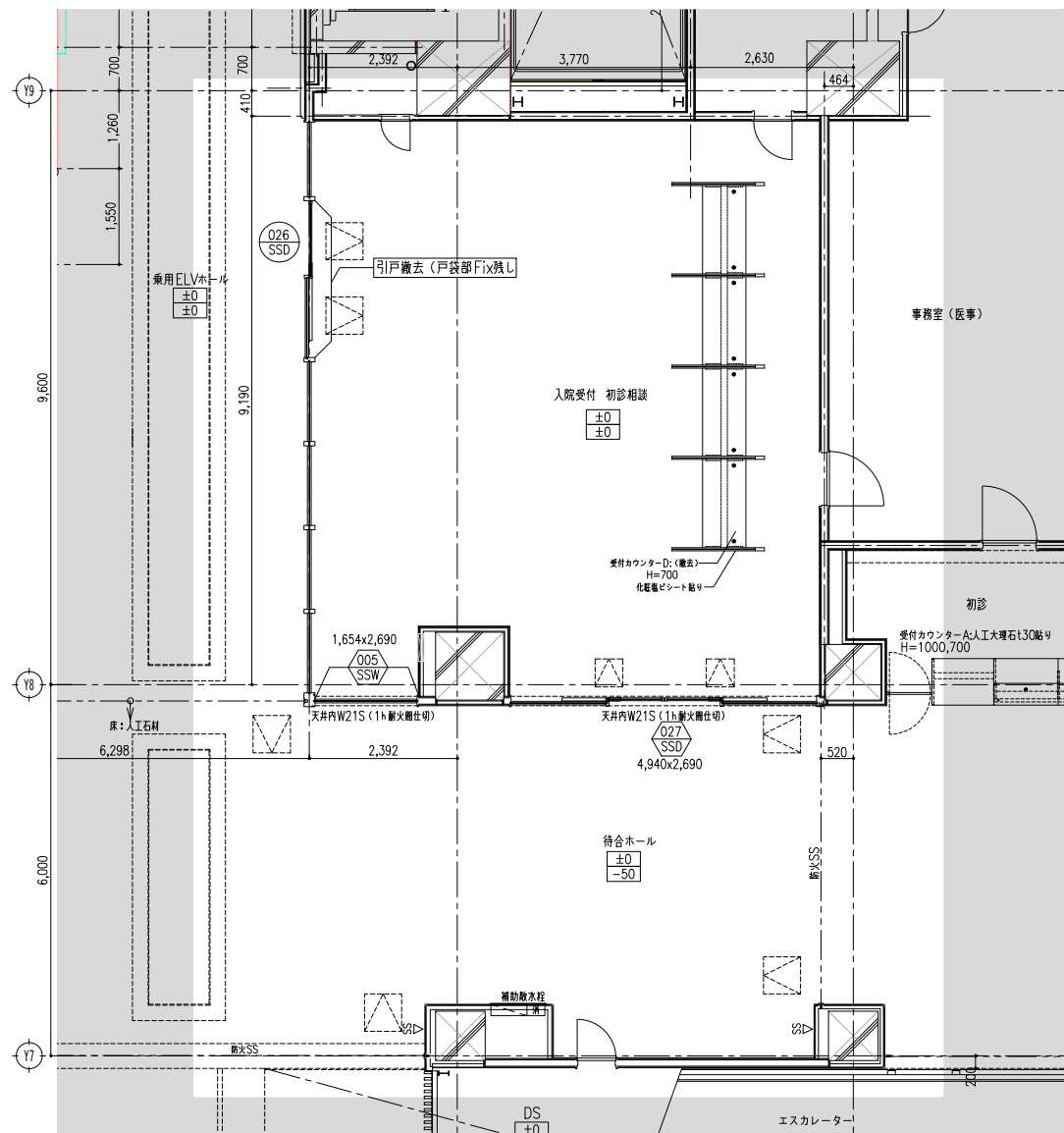
*末尾「S」は、低音壁 (GW充填)

凡例

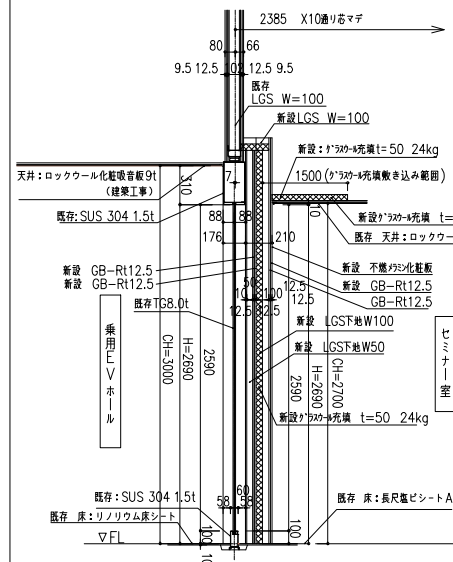
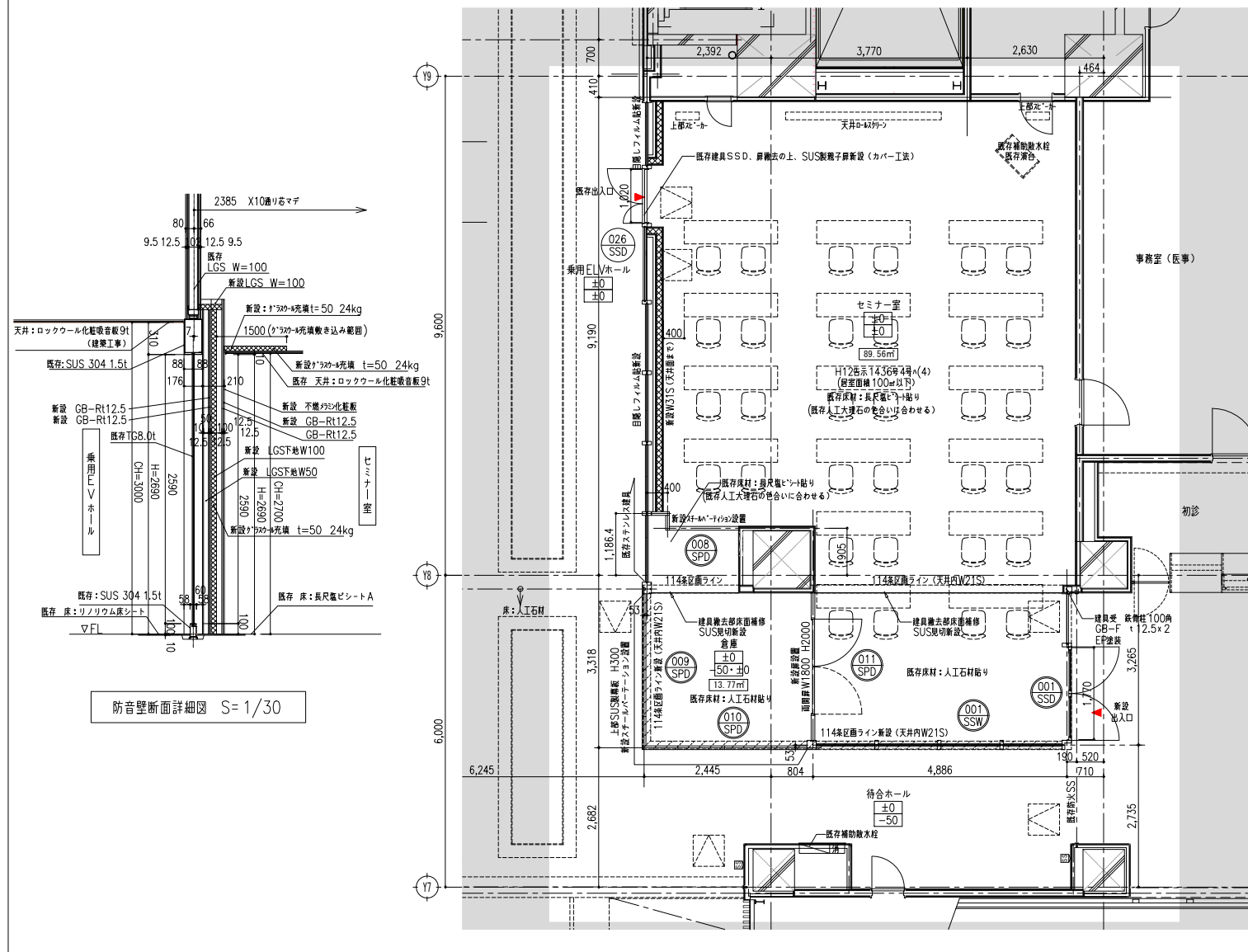
新設建具	○	番号		A: Aからの上レベルを示す。
撤去建具	○	特記事項		B: Bからの上レベルを示す。
建具符号		その他符号		*特記なきは上レベルFL±0
SD 鋼製戸(開き戸)		改修範囲外を示す	■	
LSD 軽量鋼製戸(開き戸)		壁名変更範囲を示す	▨	
LHD 軽量鋼製戸(片引きハンガードア)		床レベル (特記なき限り既存のまま)	***	
WD 木製戸(開き戸)		壁 新設・改修を示す	—	
AD アルミ製ドア		W-*	壁種別符号 (部分詳細参照)	壁付手摺 H750
SS スチールシャッター		IC	電気錠・カードリーダーを示す	撤去部の既存手摺は撤去するものとする
SPD スチールパーテーション		AD	自動ドア (特記なきは仕切とする)	撤去部の取り合い部は旧工とする
				CR 新設カーテンレール
				PR 新設ビクチャーレール
				天井点検口
				コーナガード (特記なきCG-A)



1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)



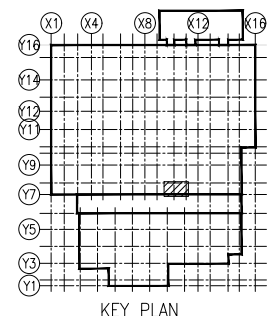
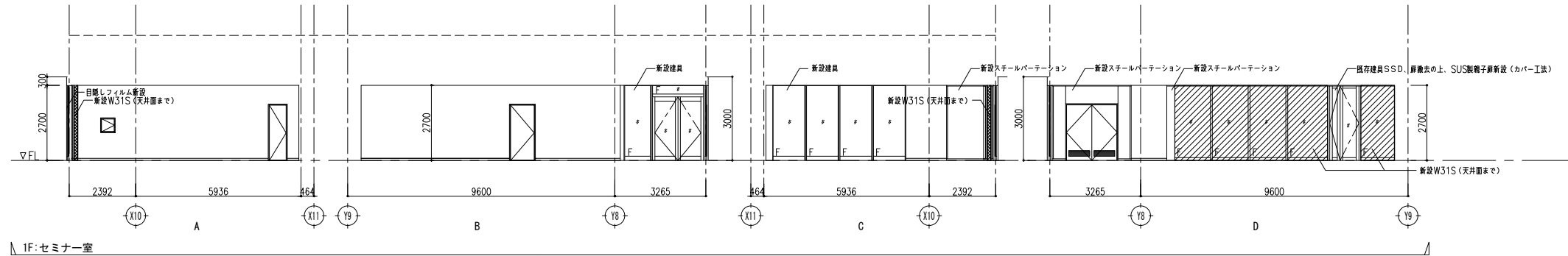
凡例	
既存撤去建具	既存改修建具
○	○
*特記なき限り、撤去する壁は乾式壁、LGS≠W65とする。	
建具符号	その他符号
SD 鋼製戸 (開き戸)	改修範囲外を示す
LSD 軽量鋼製戸 (開き戸)	壁名変更範囲を示す
LHD 軽量鋼製戸 (片引きハンガード)	CR 既存カーテンレール
WD 木製戸 (開き戸)	PR 既存ビクターレール
AD アルミ製ドア	〇〇〇 壁・建具撤去範囲を示す
SS スチールシャッター	
SPD スチールパーテーション	

■壁種別 凡例
 W31 一般壁 (スラブ・梁下まで) LGS W100 GB-R t12.5×2 (両面)
 W32 一般壁 (天井下止まり) LGS W65 GB-R t12.5×2 (両面)
 W11・21 1時間耐火 (防火区画) LGS W100 GB-F t12.5×2 (両面)
 *末尾「S」は、遮音壁 (CW充填)

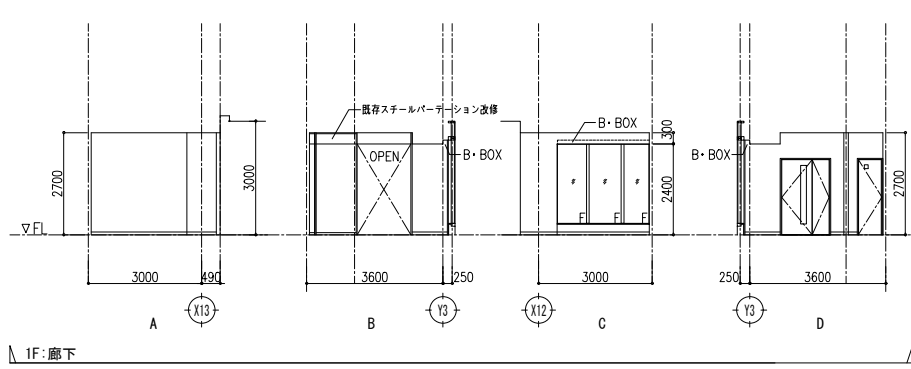
凡例	
新設建具	既存改修建具
○	○
種別	
建具符号	その他符号
SD 鋼製戸 (開き戸)	改修範囲外を示す
LSD 軽量鋼製戸 (開き戸)	壁名変更範囲を示す
LHD 軽量鋼製戸 (片引きハンガード)	*** 床レベル (特記なき限り既存のまま)
WD 木製戸 (開き戸)	壁 新設・改修を示す
AD アルミ製ドア	W-# 壁種別符号 (部分詳細図参照)
SS スチールシャッター	IC 電気錠・カードリーダーを示す
SPD スチールパーテーション	AD 自動ドア (特記なきはセパとする)
	CR 新設カーテンレール
	PR 新設ビクターレール
	□ 天井点検口
	● コーナーガード (特記なきCG-A)
	— 壁付手摺 H750
	*壁撤去部の既存手摺は撤去するものとする
	*撤去部の取り合い部は本工事とする

1階展開図 (改修後) S=1/100

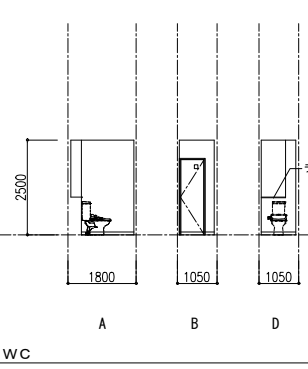
壁名	1F:セミナー室
床	人工石材 長尺敷きシート
巾木	WB H75
壁	不燃・不燃・不燃化粧板
天井	DR (1) C2
廻縁	巻ビ
備考	



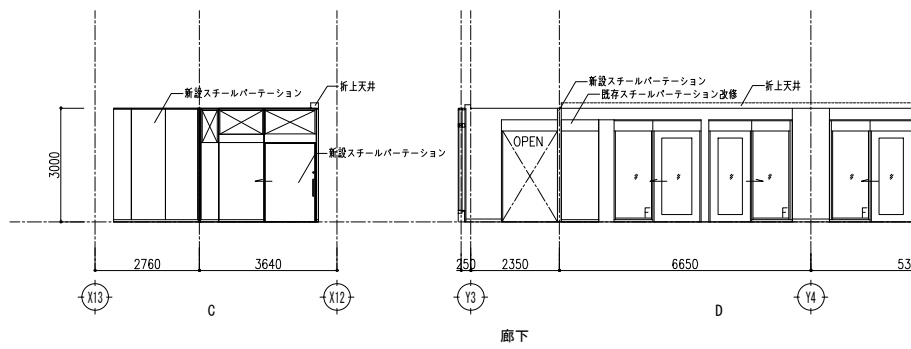
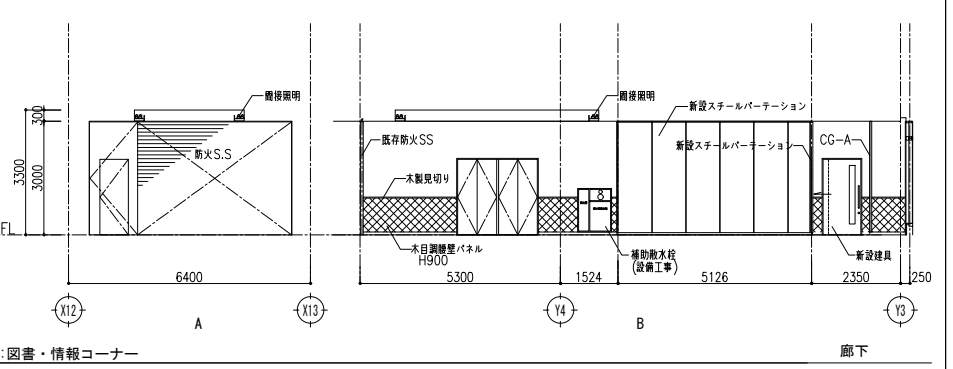
室名	1F:廊下
床	ホモジニアスビニル床タイル t2.0
巾木	VB (2)
壁	ビニルクロス (不燃) ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	床見切



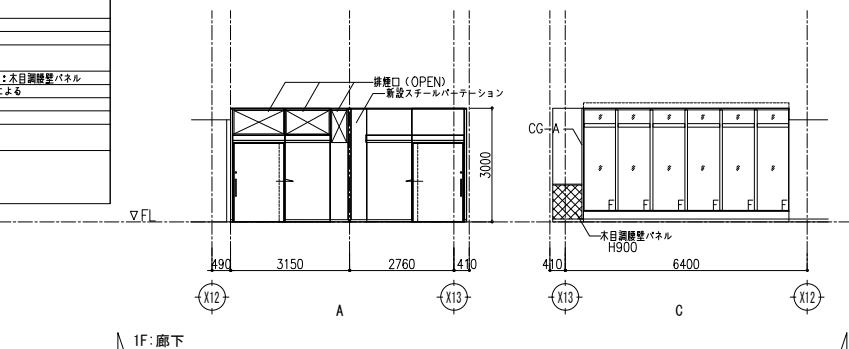
室名	1F:WC
床	ホモジニアスビニル床タイル t2.0
巾木	VB (2)
壁	ビニルクロス (不燃) ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	ライニング



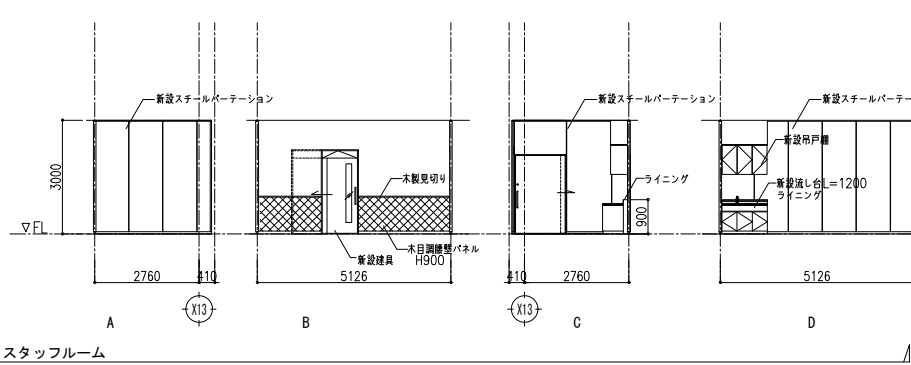
室名	1F:図書・情報コーナー
床	入口石材
巾木	F2
壁	壁向材
天井	EP 断壁・木目調断壁パネル ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



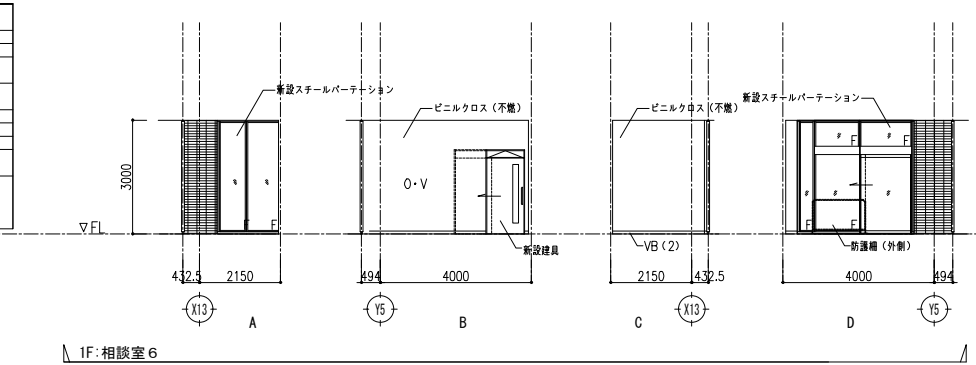
室名	1F:廊下
床	入口石材
巾木	壁向材
壁	EP 断壁・木目調断壁パネル ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



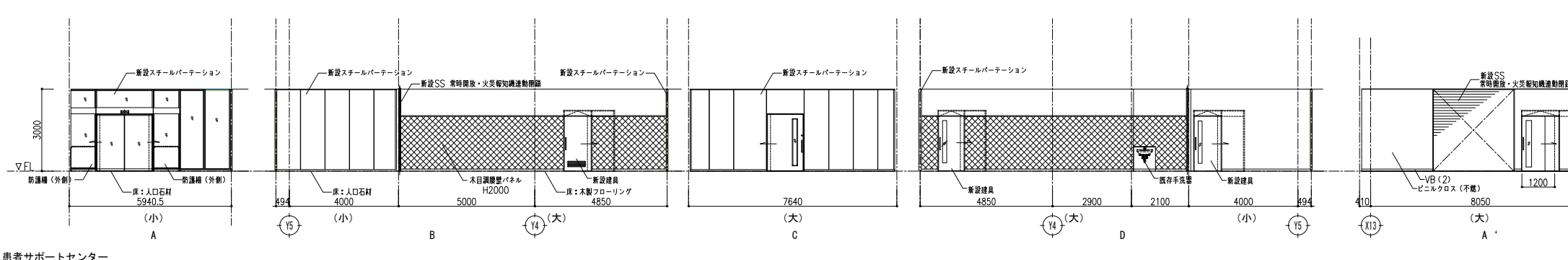
室名	1F:スタッフルーム
床	入口石材
巾木	F2
壁	壁向材
天井	EP 断壁・木目調断壁パネル ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



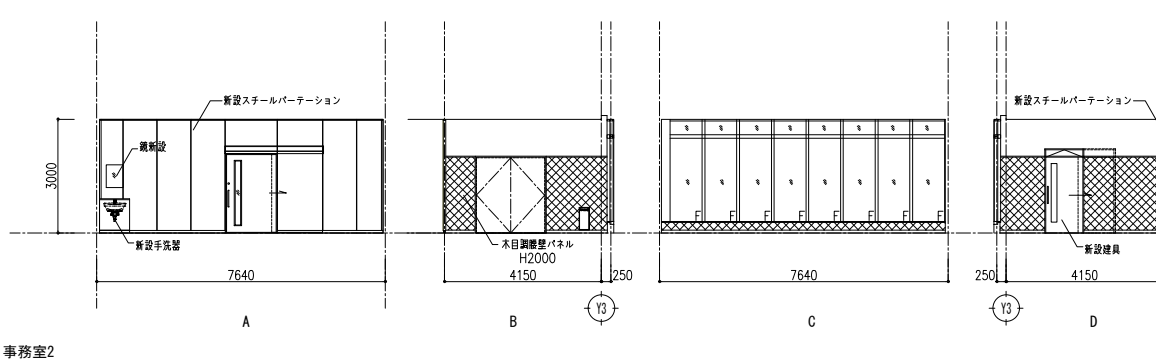
室名	1F:相談室6
床	入口石材
巾木	F2
壁	壁向材
天井	セツ断壁・木目調断壁パネル ビニルクロス (不燃) ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



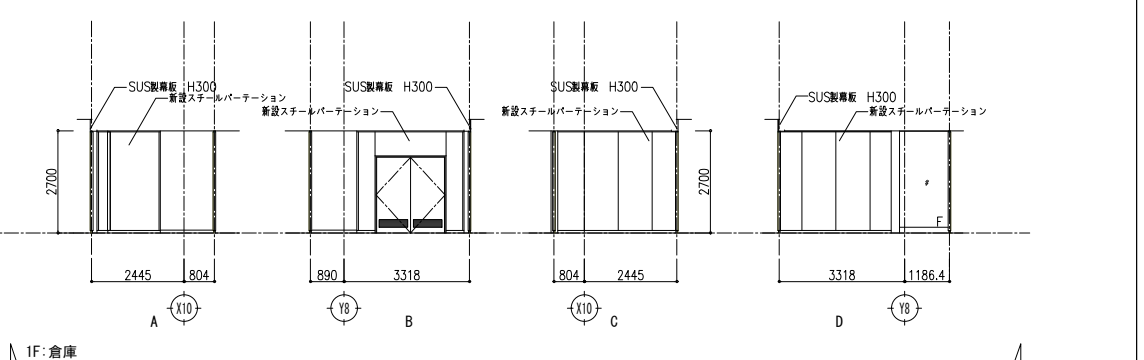
室名	1F:患者サポートセンター
床	木製フローリング t30 入口石材
巾木	WB H75 VB (2)
壁	EP 断壁・木目調断壁パネル ビニルクロス (不燃) ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



室名	1F:事務室2
床	木製フローリング t30 F2
巾木	WB H75 VB (2)
壁	EP 断壁・木目調断壁パネル ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



室名	1F:倉庫
床	入口石材・長尺強化ビニル床シート At2.0
巾木	VB (2)
壁	EP 断壁・木目調断壁パネル ※壁種別による
天井	DR (1) C2
廻縁	塩ビ
備考	—



建具表 (改修後)

記号・名称・個数	001 SSW Fix窓 不燃 1	001 SSD 両開扉ドア+Fix窓 不燃 1	026 SSD 両開扉ドア+Fix窓 不燃扉 1		
形状・寸法					
場所・見込	1F セミナー室 枠: 176 扉: -	1F セミナー室 枠: 176 扉: 50	1F 入院受付・初診相談 枠: 180 扉: 50		
材質・仕上	SUS 化粧塩ビフィルム	SUS 化粧塩ビフィルム	SUS 化粧塩ビフィルム		
ガラス	T t8.0 飛散防止フィルム	T t8.0 飛散防止フィルム	T t8.0 飛散防止フィルム		
附属金物	メーカー標準附属金物一式、本締錠	メーカー標準附属金物一式、本締錠、ドアクローザー、丁番、戸当、引手	メーカー標準附属金物一式、本締錠、ドアクローザー、丁番、戸当、引手		
記号・名称・個数	001 SPD スチールパーテーション+片引きハンガードア 1	002 SPD スチールパーテーション 1	003 SPD スチールパーテーション 1	004 SPD スチールパーテーション+片引きハンガードア 1	
形状・寸法					
場所・見込	1F 廊下 枠: 70 扉: 40	1F スタッフルーム 枠: 70 扉: -	1F スタッフルーム 枠: 70 扉: -	1F 事務室2 枠: 70 扉: 40	
材質・仕上	スチール 扉: 焼付塗装 枠: 焼付塗装	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装	スチール 扉: 焼付塗装 枠: 焼付塗装	
ガラス	-	-	-	T t6.0 飛散防止フィルム	
附属金物	メーカー標準附属金物一式、ハンガーレール、引手、ロックウール t25、本締錠 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式、ロックウール t25 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式、ロックウール t25 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式、ハンガーレール、引手、本締錠 ※イトーキ クレアパート同等品	
記号・名称・個数	005 SPD スチールパーテーション (硝子仕様) +片引きハンガードア 1	006 SPD スチールパーテーション (硝子仕様) +片引きハンガード自動ドア 1	007 SPD スチールパーテーション 1	008 SPD スチールパーテーション 1	009 SPD スチールパーテーション 1
形状・寸法					
場所・見込	1F 相談室6 枠: 70 扉: 40	1F 患者サポートセンター (小) 枠: 70 扉: 40	1F 患者サポートセンター (小) 枠: 70 扉: -	1F 倉庫 枠: 70 扉: -	1F 倉庫 枠: 70 扉: -
材質・仕上	スチール 扉: 焼付塗装 枠: 焼付塗装	スチール 扉: 焼付塗装 枠: 焼付塗装	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装
ガラス	T t6.0 飛散防止フィルム	T t6.0 飛散防止フィルム	-	-	-
附属金物	メーカー標準附属金物一式、ハンガーレール、引手、本締錠 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式、自動ドアエンジンBOX、補助光電センサ、本締錠 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式 ※イトーキ クレアパート同等品
記号・名称・個数	010 SPD スチールパーテーション 1	011 SPD スチールパーテーション+両開き戸 1			
形状・寸法					
場所・見込	1F 倉庫 枠: 70 扉: -	1F 倉庫 枠: 70 扉: 40			
材質・仕上	スチール 扉: - 枠: 焼付塗装	スチール 扉: 焼付塗装 枠: 焼付塗装			
ガラス	-	-			
附属金物	メーカー標準附属金物一式 ※イトーキ クレアパート同等品	メーカー標準附属金物一式、丁番、レバーハンドル、フランス落し、戸当り、ドアクローザー (S付き)、ケースロック ※イトーキ クレアパート同等品			

・建具キープランは平面詳細図を参照。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

株式会社 内藤建築事務所

東京都中央区八丁堀3-12-8
一級建築士 小倉 謙二 第272507
一級建築士事務所 東京事務所 第5219号

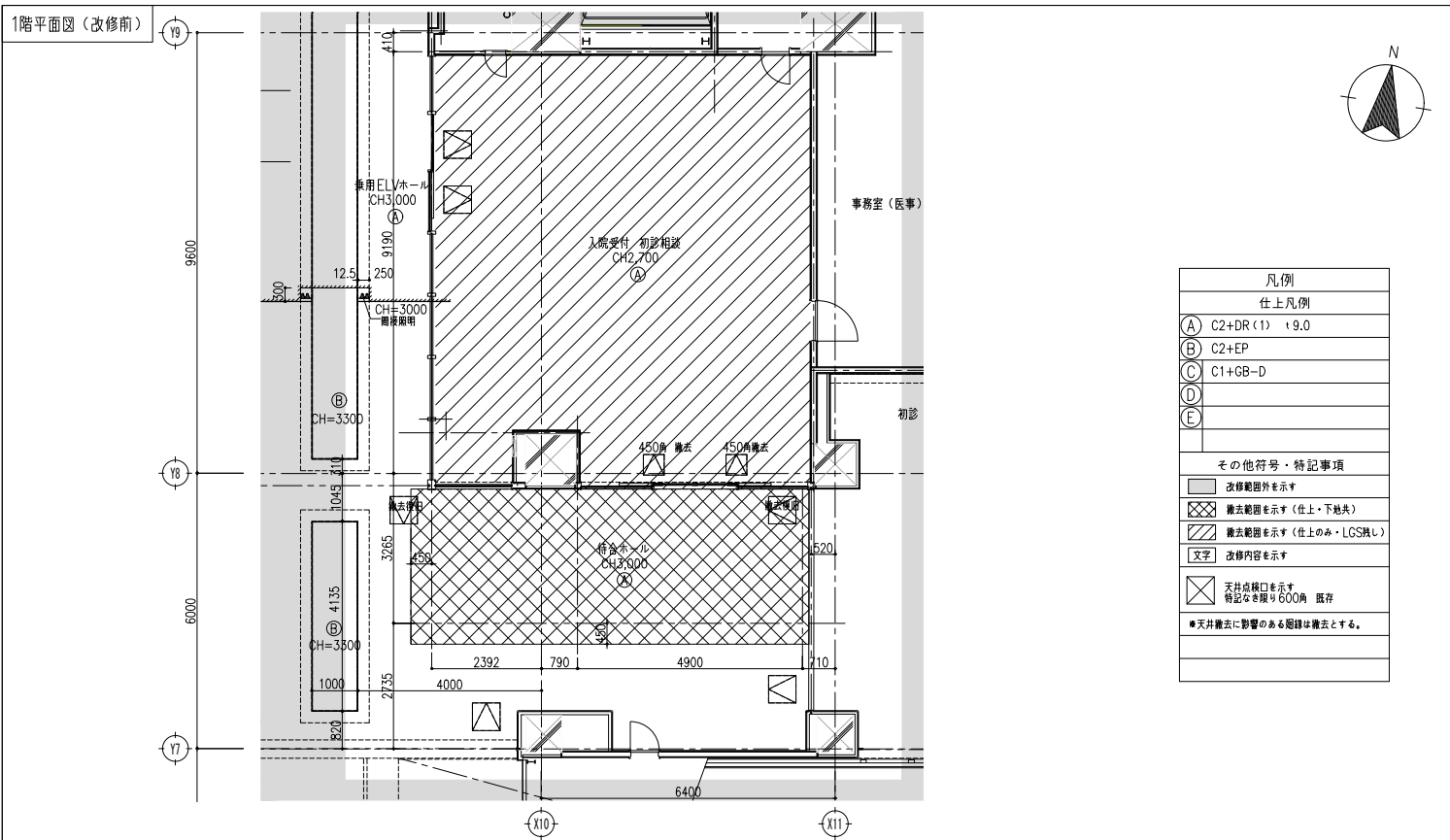
地方独立行政法人埼玉県立病院機構

工事名 22がんセンター入院サポートセンター設置改修工事

図名 建具表2 (改修後)

縮尺 S=1/100 (A3用)
S=1/50 (A1用)

A-012



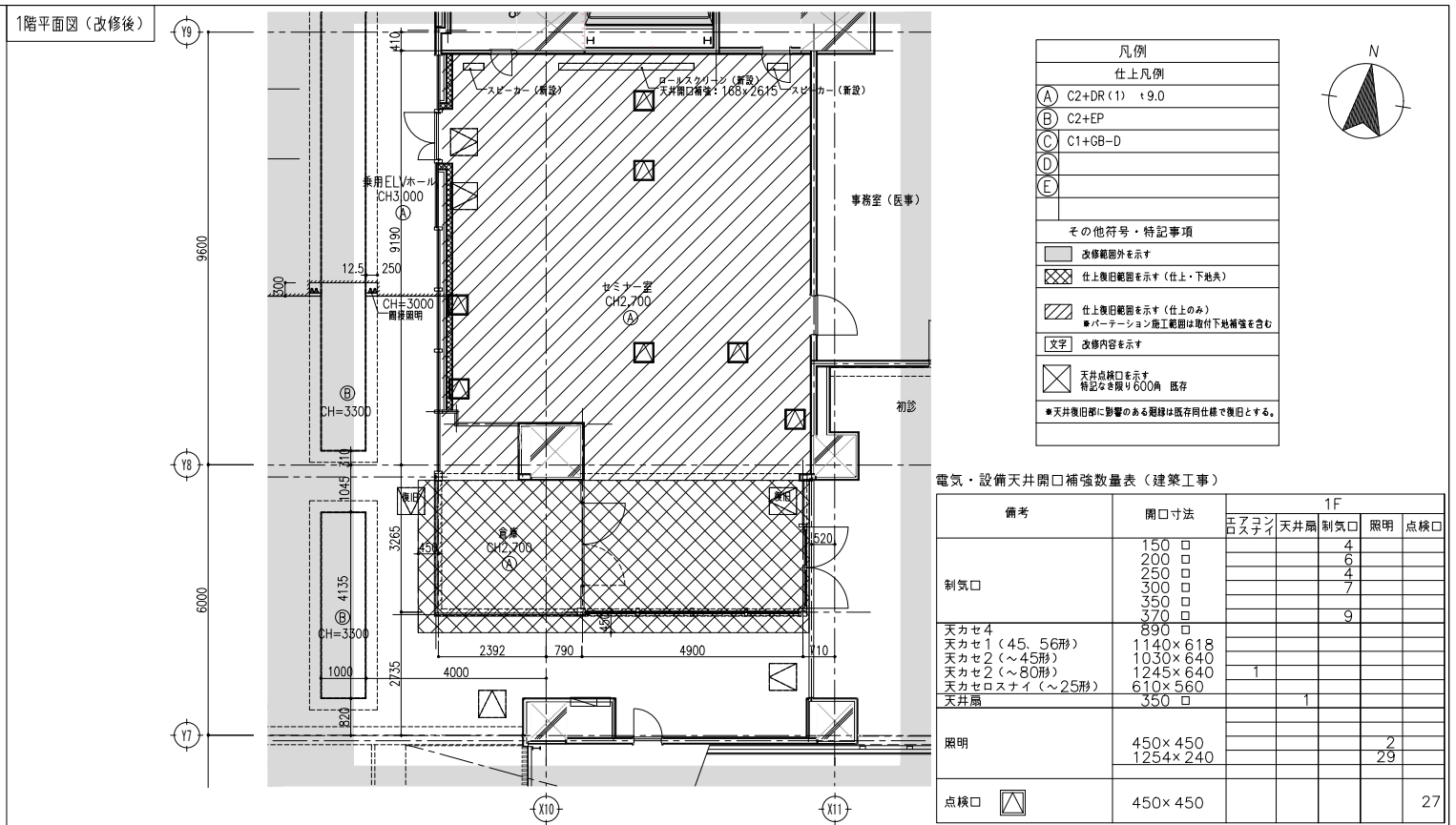
凡例

仕上凡例	
(A)	C2+DR(1) t9.0
(B)	C2+EP
(C)	C1+GB-D
(D)	
(E)	

その他符号・特記事項

[Grey Box]	改修範囲外を示す
[Cross-hatch]	撤去範囲を示す(仕上・下地共に)
[Diagonal Hatch]	撤去範囲を示す(仕上のみ・LGS無し)
[Text]	改修内容を示す
[X]	天井点検口を示す 特記なき限り600mm 既存

*天井撤去に影響のある廻りは撤去後で復旧とする。



凡例

仕上凡例	
(A)	C2+DR(1) t9.0
(B)	C2+EP
(C)	C1+GB-D
(D)	
(E)	

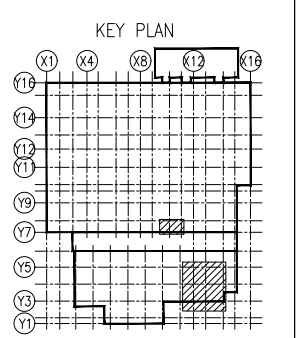
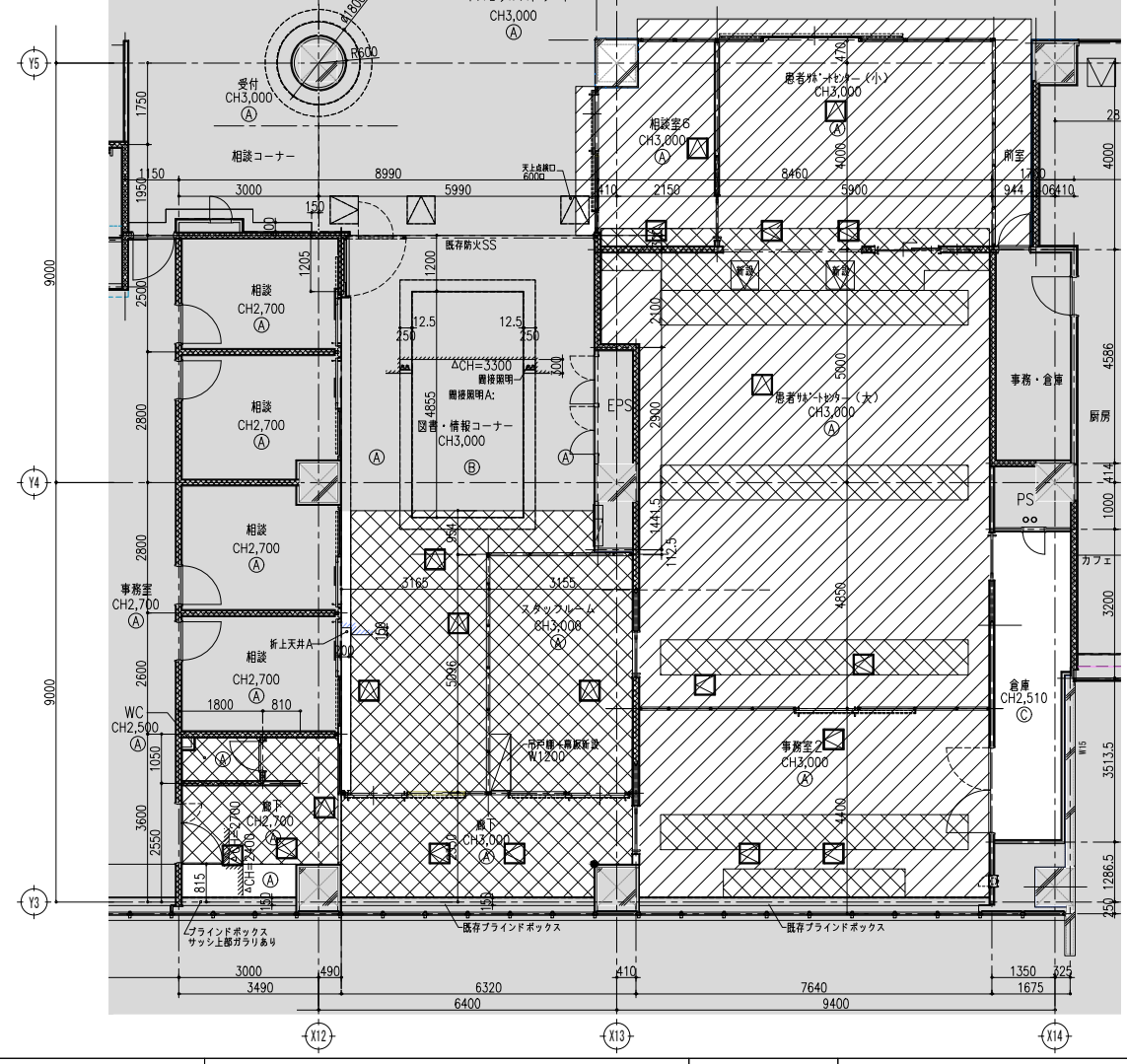
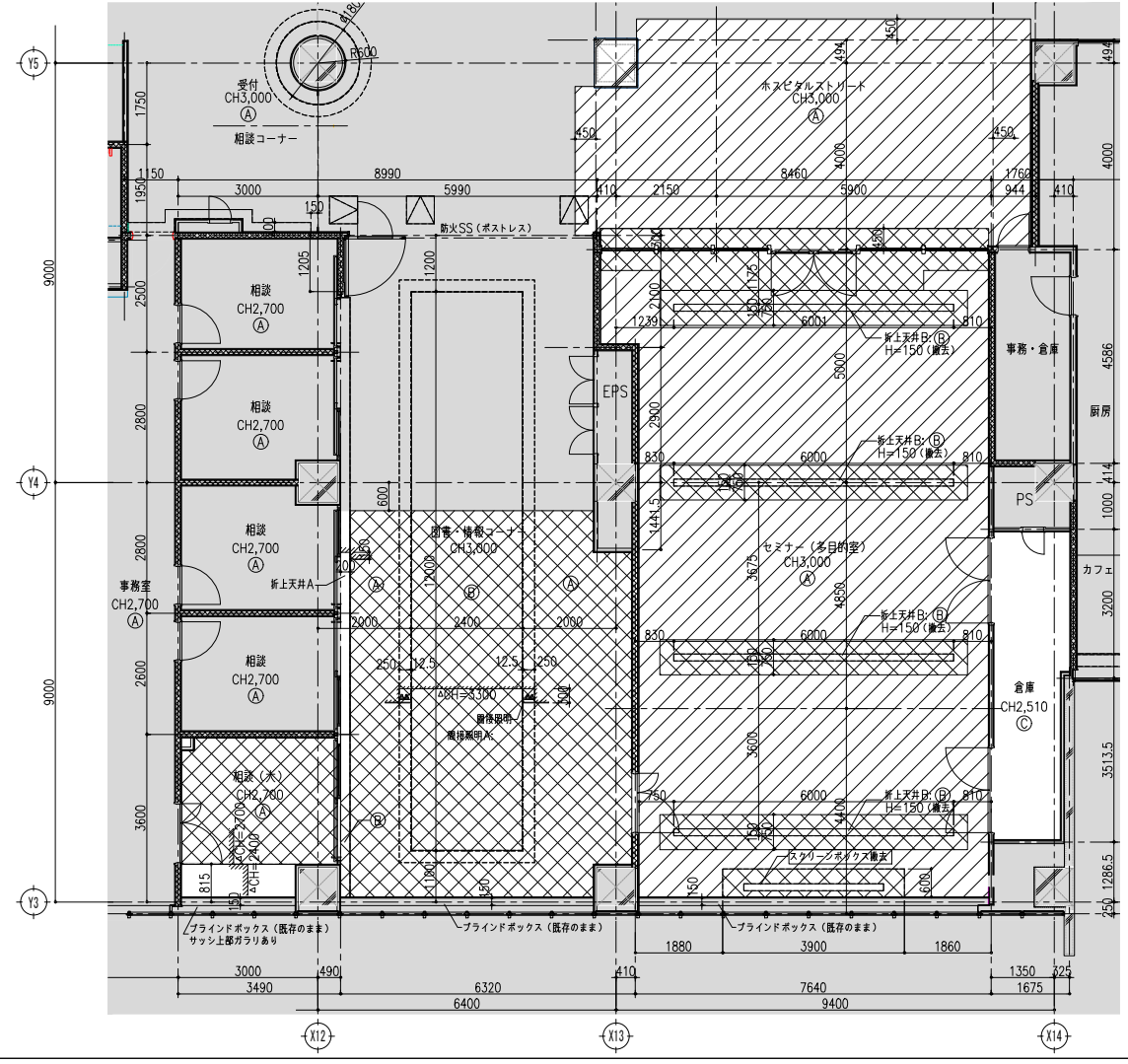
その他符号・特記事項

[Grey Box]	改修範囲外を示す
[Cross-hatch]	仕上撤去範囲を示す(仕上・下地共に)
[Diagonal Hatch]	仕上撤去範囲を示す(仕上のみ)
[Pattern]	バターンシオン施工範囲は取付下地層強を含む
[Text]	改修内容を示す
[X]	天井点検口を示す 特記なき限り600mm 既存

*天井撤去に影響のある廻りは撤去後で復旧とする。

電気・設備天井開口補強数量表 (建築工事)

備考	開口寸法	1F			
		鉄骨 天吊り	天井	照明	点検口
制気口	150 口		4		
	200 口		6		
	250 口		4		
	300 口		7		
	350 口				9
	370 口				
	890 口				
天カセ	天カセ1(45・56形)				1140×618
	天カセ2(~45形)				1030×640
	天カセ2(~80形)	1			1245×640
	天カセロスナイ(~25形)				610×560
	天井層		350 口		
照明	450×450			2	
	1254×240			29	
点検口	450×450				27

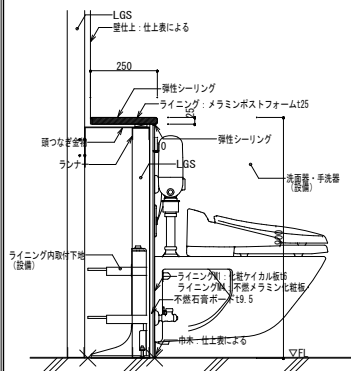
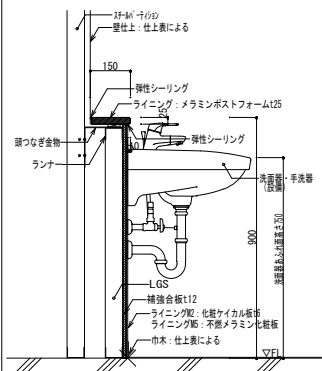


01 洗面器・手洗器ライニング廻り

S-1/10

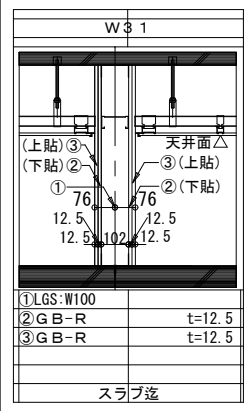
02 大便器ライニング廻り

S-1/10



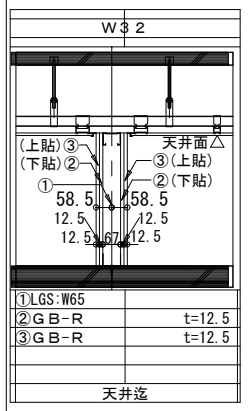
*区画壁・造音壁に設置する場合は、「手洗器ライニング廻り(区画壁・造音壁)」同様

壁種別リスト



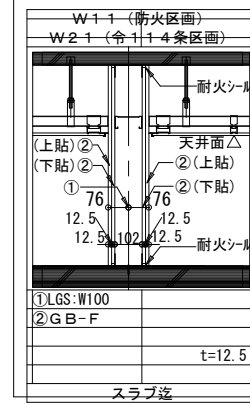
①LGS:W100	t=12.5
②GB-R	t=12.5
③GB-R	t=12.5

スラブ造



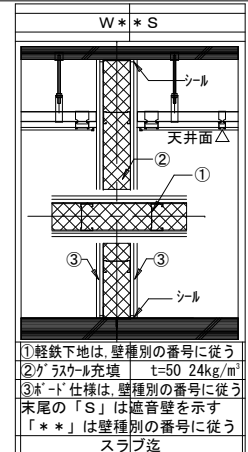
①LGS:W65	t=12.5
②GB-R	t=12.5
③GB-R	t=12.5

天井造



①LGS:W100	t=12.5
②GB-F	t=12.5

スラブ造



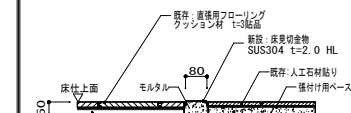
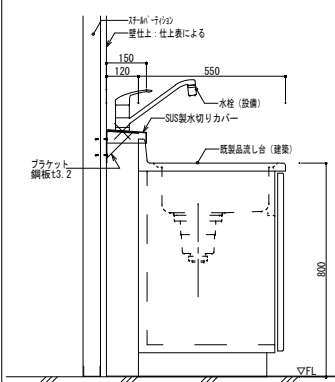
①軽鉄下地は、壁種別の番号に従う
 ②グラスウール充填 t=50 24kg/m³
 ③ボード仕様は、壁種別の番号に従う
 末尾の「S」は遮音壁を示す
 「**」は壁種別の番号に従う
 スラブ造

03 流し台

S-1/10

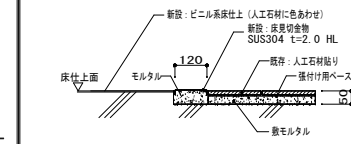
04 入退院用トバク(大)〜入退院用トバク(小) 床納まり

S-1/10



05 改修後付内床納まり

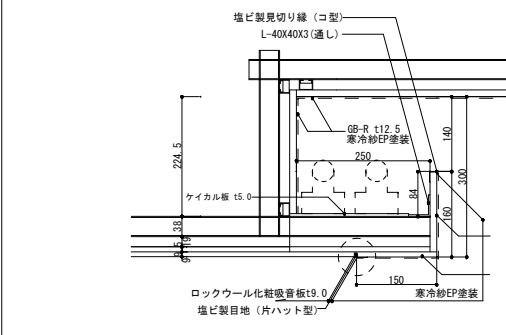
S-1/10



06 間接照明

S-1/5

(1階図書・情報コーナー他)



07 受付カウンター:1階入退院用トバク相談コーナー

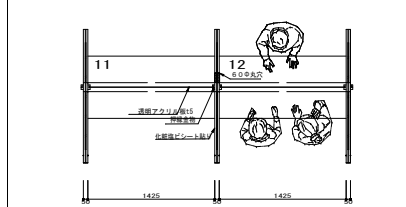
家具共通仕様書 「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

- 本体・棚板** 室内VOC(ホルムアルデヒド等)の低減効果と抗菌機能を有した可視光増感型軸炭を工業的に配合した両面メラミン化紙(アクリルボード)厚さ2.0mm、F☆☆☆☆を使用する。上記材料は、JIS-A5908適合、18タイプ(曲げ強さ18N/平方ミリメートル以上)とし、JISマーク認定の国内工場での生産品とする。
- 木口処理** 躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も着けてフラットエッジ(ABS製樹脂をホットメルト継付)加工とする。開き扉・扉体前縁はセラミックエッジ(ABS製 厚さ3mm、ホットメルト継付)加工とする。
- 表面処理** 本体・棚板・建具等は使用時の摩り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度 9H以上の表面材を使用する。本体色については色見本帳(50色以上)を提出の上決定する。

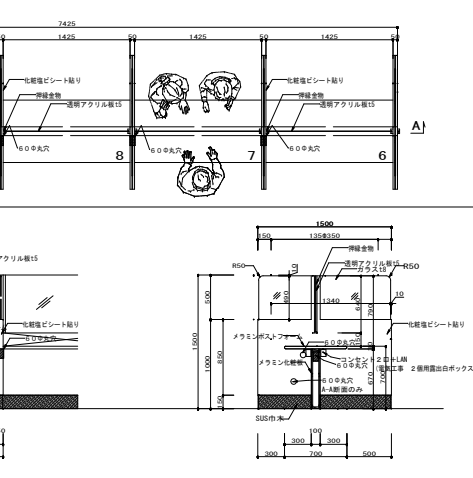
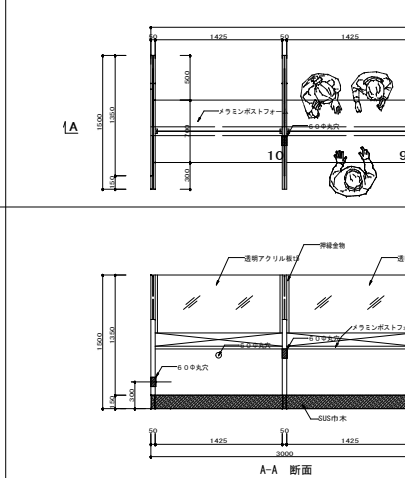
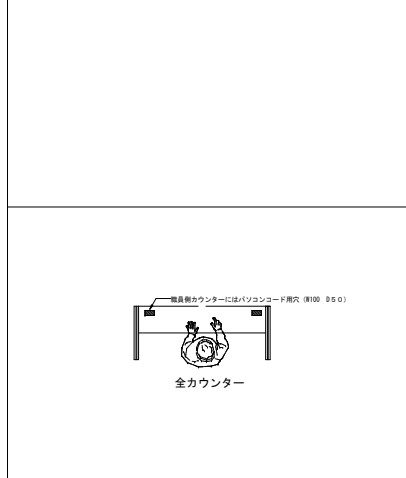
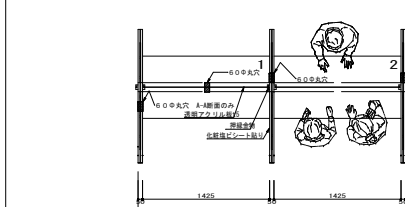
- 本体組立て
- 巾木・台輪
- 特記事項
- 組立ては、製作工場での木製架組接合とし、接合部のロックダウン金物は使用不可とする。
- ボリエステル樹脂化粧仕上げ F☆☆☆☆(塗膜不要)とする。
- 環境配慮及び品質確保のため、取り扱いはISO14001、製作はISO9001取得企業とする。
- 製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接合部の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
- 室内空気汚染防止のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定データを提出する。
- 家具取付は、安全のため壁や床に耐置固定を施す。
- 特記事項限り天板の出隅はR3加工とする。

説明コーナー	カウンター0
天板	ポストフォーム
側板	メラミン化粧板
	ガラス18
建	ダイノックシート貼り
巾木	SUS HL

入退室サポート 小



入退室サポート 大



内藤建築事務所

東京都中央区八丁堀3-12-8
 一級建築士 小暮 謙二 第27207
 一級建築士事務所 東京都中央区 第30198

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事
 図名 部分詳細図(4)